愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	養護概説		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

近年の子どもを取り巻く社会や家庭環境の変化に伴い、健康問題が多様化、深刻化している現在、一人ひとりの子どもの健康を守り、健康の保持、増進を図っていくとともに、社会の中で自立した人間として成長できるための基礎理論と支援方法を学ぶことを目的とする。また、学校や家庭における子どもの現代的健康課題・保健教育・健康管理の基礎知識・技術を習得するために、講義、討論、発表、ロールプレイなどを取り入れた授業を展開する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義　グループワーク　ロールプレイ　レポート　 DVD視聴　メディア授業2回予定（オンデマンド）

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス（授業概要、受講上の諸注意、評価方法の説明など）「養護とは」	シラバスをもとに本授業の概要、受講上の諸注意、評価方法の説明などを行う。また各自が考えている養護について討論する。	□
第2回	養護の概念	人間、成長、発達の観点からの養護概念について理解する。	□
第3回	養護ニーズと養護活動	養護ニーズを把握するにはどうすればよいか。またニーズに答えていくべき養護活動について理解する。	□
第4回	健康問題の把握（健康観察の実際）	健康問題を把握する方法について話し合う。実際の教育現場をイメージしながら考える。	□
第5回	乳幼児期、学童期、青年期の成長・発達・課題	乳児期、学童期、青年期の成長、発達の様子やその時期の課題について理解する。特に青年期にいる自己を見つめる機会とする。	□
第6回	子どもの現代的な健康問題とその支援	子どもの現代的な健康問題は社会情勢と大きくかかわっていることを理解できるよう、最近のニュースを教材にして考える。	□
第7回	健康問題の解決支援（１）身体的支援（２）精神的支援　（３）社会的支援	健康問題の解決や支援について、身体的、精神的、社会的な面から現代的な健康問題とその支援を理解する。	□
第8回	健康問題に応じた養護活動（１）慢性疾患をかかえた子ども	慢性疾患をかかえた子どもの理解と養護活動について話し合い、養護活動の一部をロールプレイする。	□
第9回	健康問題に応じた養護活動（２）発達に課題をもつ子ども	発達に課題をもつ子どもの理解と養護活動について話し合い、養護活動の一部をロールプレイする	□
第10回	健康問題に応じた養護活動（３）心の問題をかかえた子ども	心の問題を抱えた子どもの理解と養護活動について話し合い、養護活動の一部をロールプレイする。	□
第11回	健康問題における予防活動のあり方	社会の情勢と健康問題のつながりを理解した上でどのような予防活動を展開するかを理解する。	□
第12回	養護活動における連携・組織	組織とは何か理解し、養護活動を展開するうえで必要な連携について話し合う。	□
第13回	健康管理（健康診断の活用）	健康を管理することの意味・意義を理解する。健康診断にはどのようなものがあるか話し合い発表する。	□
第14回	保健教育　レポート課題	保健教育について、その根拠、目的・内容・意義等を理解する。５分間保健指導を作成する。	□
第15回	養護活動の評価とまとめ	養護活動についての評価方法について理解する。 テストは授業内に行い理解度を確認する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習はシラバスにかかわる内容を確認しておく。「養護」とはなにかまとめていく（2時間） 身近なニュースから子供を取り巻く問題を分析する（2時間）。 授業後は理解できなかった点などを確認し質問する（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

出されたレポートは添削、採点後返却する。 課題レポートは、全体で共有する機会を持つ。 毎回授業の振り返りとして、課題の小レポートが記述できているか確認する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	こどもの新生児期から15歳までの身体、心の発達を理解し子供へのか育児から子ども生活サポート、教育全般について理解し、どのような人間として育てていくのか大人としての役割、教員としての役割を理解するとともにサポート技術を学ぶ。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	学校での子どもの成長発達、健康の維持、健康を害した時のサポートについて理解し、どのような関わりが必要となるのか、事例を通じて対応方法を展開できるように課題レポートなどで学んでいく。また子どもの成長に必要な精神的な問題をグループワークなどで考えるような機会をもち自分の考えを発言できるようにする。
主体性	◇ 2019人間健康DP3	自ら学んだことをまとめることができるよう毎回事例や、知識確認の機会を持ち、積極的に学べるようにしていく。またオンデマンドの授業では事例を提示し自ら解決できるよう文献を活用したレポート課題を行う。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題の提出物を毎回評価する。授業内の小テストを行う。2回オンデマンドで課題を行う。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜資料配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	大谷尚子他編　新養護概論　東山書房	
2	岡田加奈子　養護学概論　東山書房	
3	岡田加奈子　学校看護　東山書房	
4		
5		